

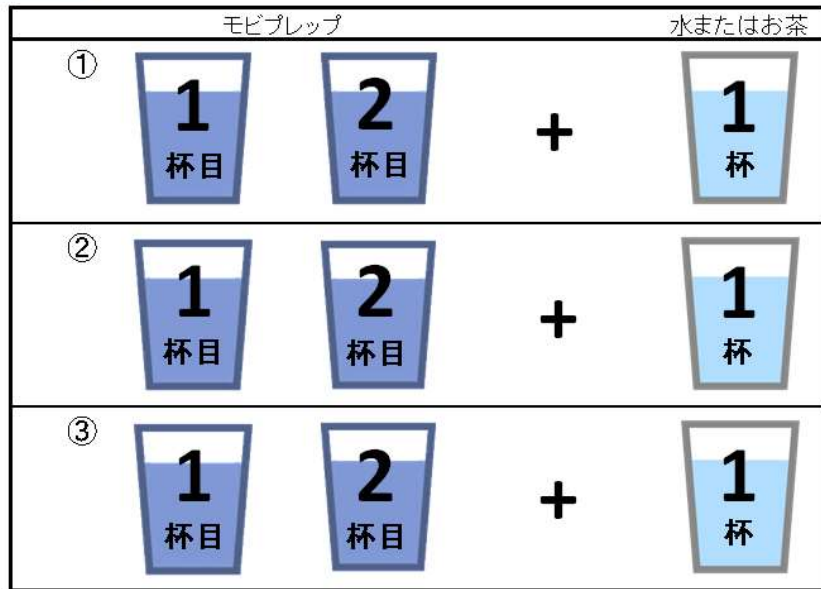
下部消化管内視鏡(大腸カメラ)の日程表 <当日入院の患者さん> 1/3

検査前日()		検査当日()
		検査前
抗凝固薬()は から内服を中止してください		8時30分に入退院受付にお越しください
☆抗凝固薬以外の常用薬はいつものように飲んでください ☆検査前日の食事☆ ・大腸の中に食べ物のかすが残らないようにするため、繊維脂肪の多い食品、粒(たね)のある食物は避けて、消化のよいものを食べてください 《食べて良い食品》 * 繊維の少ない物 白米、うどん、食パン、 じゃがいも、豆腐、はんぺん ゼリー、プリン * 脂肪の少ない物 ささみ・白身魚などの脂の少ない物 * 粒(たね)のない野菜や果物 バナナ、りんご、桃、 《食べてはいけない食品》 * 繊維の多い物 ほうれん草、小松菜、ごぼう、ねぎ類 れんこん、こんにゃく、しらたき、豆類 わかめ、ひじき、竹の子、きのこ、 雑穀米、玄米 * 脂肪の多い食物 脂の多い肉(ステーキなど) 脂の多い魚(大トロなど) ヨーグルト * 粒(たね)のある野菜や果物 とうもろこし、ごま、トマト、キウイ、みかん、いちご ☆検査前日の飲み物☆ ・水分は飲んでもかまいませんが、注意するものがあります ・水分制限をされている方は、主治医の指示に従ってください 《飲んでよい飲み物》 * 水、お茶、麦茶、紅茶、コーヒー * スポーツドリンク * 果肉なしジュース 《飲んではいけない飲み物》 * 左記以外の飲み物は、飲まないでください ※糖尿病の方は糖分の含まれる飲み物はお控えください ☆検査前夜☆ ・夜9時以降は、検査が終わるまで何も食べないでください ・水、お茶、スポーツドリンクは飲んでもかまいません ・夜9時にセンソジ錠(ピンクの錠剤)2錠を飲んでください		【注意事項】 ・糖尿病のお薬は飲まないでください ・インスリン注射はしないでください ☆糖尿病の薬以外の常用薬は指示の時間に自宅で飲んでください(抗凝固薬は除く) ・検査が終わるまで食事はできません ・入院前にマニキュア、ペディキュアなどは除去してきてください 【入院後】 ・病棟担当看護師が、入院説明を行います ・下剤服用前に、検温を行います ・下剤の服用方法は、別紙を参照してください ・ポータブルトイレが必要な方は、あらかじめお声かけください ・着替えるときは看護師が声をかけます ・浴衣式の病衣に着替え、検査用パンツにはきかえます ・検査用パンツは穴が開いている方が、後ろ側になるようにはいてください ・オムツを着用する方は、オムツの上に検査用パンツをはいてください ・金属の付いているものはすべて外してください(指輪、ピアス、時計、義歯、ヘアピン、 ネックレス、ブラジャー、コルセット、湿布、ボディスーツ) ・貴重品は金庫に入れてください ・Tシャツなど金属が付いていなければ病衣の下に着けてもかまいません ・排便が落ちついたら、点滴をはじめます 入院に関してご不明な点は、こちらに連絡してください <連絡先> 練馬総合病院 予約した外来へ 03-5988-2290

モビプレップ(下剤)の服用方法 <当日入院の患者さん> 2/3

【下剤:モビプレップ服用方法】 ※午前9時30分から飲み始めます

ステップ 1 モビプレップをコップ1杯(約180ml)あたり10-15分かけて①、②、③と飲んでください。



【下剤服用時の注意事項】

- ・早い人では飲み始めて30分程度で下痢が始まります
- ・下痢が始まってもステップの①、②、③は実施してください
- ・約1Lのモビプレップを飲むことになります
- ・コップ1杯分の下剤を10～15分かけるより速く飲んだ場合、腸に穴が開いたり、腸が詰まる可能性があるため、一気に飲みはしないでください
- ・味が好みでないなど、飲みづらく、どうしても10～15分で1杯を飲むことが難しい場合は、1杯20～30分程度までなら、時間をかけても下剤の効果に影響ありません

ステップ2

下記の【便の状態の見本】の④になれば、検査可能です。ただし、ステップ1が終了しても【便の状態の見本】の④のような便にならない場合は、ステップ2を繰り返してください。



便がきれいになった時点で、モビプレップの服用を中止してください。

【服用中・服用後の注意】

- ・看護師が排便回数、便の状態を確認します
- ・水っぽい便(下記見本の③～④)になったら、流さずにお知らせください
- ・便の状態によっては浣腸をすることがあります
- ・次の方は、看護師にお知らせください
 - * 下剤を飲むことができない方
 - * 服用中、吐いたり、腹痛、めまい、ふらつきが出現した方
 - * 全部飲んだ後1時間経っても排便がない方
- ・便がきれいになった後も、脱水予防のために水またはお茶を摂ってください

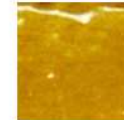
【便の状態の見本】

※便が④の状態になったら点滴を開始しますので、看護師にお知らせください

①固形状便



②泥状便



③カスがある



④薄い黄色



下部消化管内視鏡(大腸カメラ)の日程表<当日入院の患者さん> 3/3

検査当日()		翌日()	次回来院日 ()
検査中 - 便の状態によって検査の時間が変更になることがあります 検査は午後からです 検査時間は30分から1時間程度です  - 検査時間になりましたら、看護師がお知らせします - 検温を行い、トイレを済ませ、内視鏡センターに移動します - 検査は横になって行い、途中で体の向きを変えてもらうことがあります - カメラで腸の中に、空気を入れますので、お腹がはってきたらおならをして出してください - ポリープがあれば、治療します	検査後 - 車椅子で病室に戻ります * 病室に戻ったらベッドに横になって30分～1時間休んでください - 点滴終了後、点滴の針を抜きます - 夕方から食事ができます - 抗凝固薬以外の普段飲んでいる薬は、夕食時から再開します - 糖尿病の患者さんは食事摂取可能な場合は、インスリン注射・糖尿病の薬を再開します - シャワーをご希望の方は、予約してご利用ください また、清拭用のタオルをご希望の方は、看護師に伝えてください	医師の診察後、10時までに会計を済ませて退院となります 退院後の生活 特に制限はありません	・抗凝固薬()は 月 日から内服を再開してください 退院後に激しい腹痛や下血(少量の出血は心配いりません)があったら病院(下記の連絡先)に連絡をしてください 練馬総合病院 03-5988-2290 予約した外来までお問合せください 夜間・休日は救急外来対応となります
痛みどめの薬と眠くなる薬、胃腸の動きを止める薬を注射する場合があります ぐっすり眠るわけではなく医師の声は聞こえます  検査中、痛かったり苦しかったら我慢せずに言ってください  検査終了後、一時的に紙パンツをはきます  	検査後 - 車椅子で病室に戻ります * 病室に着いたらベッドに横になって30分～1時間休んでください - 食事はできません - 水は飲んでもかまいません - 翌朝まで点滴をします - 糖尿病の患者さんは、帰室時と就寝時に血糖値を測ります - 入浴、シャワーは出来ません 検査後に腹痛や下血があったら(少量の出血は心配いりません)すぐに医師か看護師に連絡してください 	- 糖尿病の患者さんは朝に血糖値を測ります 7時に採血をします 8時にお腹のレントゲンをとります - 採血、レントゲンを確認後、問題がなければ10時までに会計を済ませて退院になります - 朝食の時には検査の結果がでていませので朝食は配膳されません 食事は退院後にお召し上がりください - 抗凝固薬以外の普段飲んでいる薬は、朝食時から再開します ※治療によっては、1泊2日で退院できない場合があります ・退院が出来ない場合は再度点滴が始まります ※保険請求について ポリープを取った場合は手術あつかいとなりますので、ご加入の保険会社にご相談下さい。	☆退院後の生活☆ ・食事 1週間ほどは消化の良い物を取りましょう 辛いもの、ニンニクなどの刺激物、アルコールは1週間避けてください ・仕事 力仕事は腹圧がかかりますので、1週間避けてください ・運動 どんな運動(自転車、ゴルフなど)も少なからず腹圧がかかりますので1週間避けてください ・入浴 長い入浴は血行がよくなり出血しやすくなります 治療翌日はシャワー浴にしてください 2日目以降はぬるめ短時間の入浴とし、1週間後以降は通常の入浴でかまいません ・旅行 1週間避けてください